

■画像コントロールサーベイ設問評価指針

1. 評価領域および出題内容

腹部、心臓、血管、体表、健診の 5 領域を評価対象とする。

各領域とも出題数は 10 問とする。

設問は別に定める手引きに沿って作成し、出題基準は以下のとおりとする。

- 1) 領域における疾患知識およびその超音波所見に関する問題
- 2) 治療における超音波所見の変化等に関する問題
- 3) 良好な画像を記録するための手技的な問題
- 4) アーチファクトに関する問題

2. 解答開始後の設問内容の確認

解答開始後、設問に不備が発見された場合には、委員会で迅速に検討し、解答システムに変更内容を反映するとともにホームページで告知する。

3. 解答期間終了後の設問内容の確認

1) 設問内容の適否確認の目安

- ・著しく正答率が低い設問
- ・識別指標（※）が 0.20 を下回る設問（特にマイナスとなっている設問）
(※) 識別指標について

成績上位者と下位者の正答率より算出される 1.0～-1.0 の間の数値。

上位者が正解し下位者が誤答するという優劣判定についての適否の指標で、

全員が正答（または誤答）や上位と下位が逆転などで低値（マイナス化）となる。

2) 上記に該当する設問がある場合

A. 適切とする場合

（A－2）解説文を補足すべきかどうか

（A－3）解説文を補足する場合にはその解説文の作成

B. 適切としない場合

（B－2）正答を追加して対応するか不適切問題として評価から除外するか

（B－3）正答を追加する場合にはその正答と対応する解説文の作成

上記の対応を委員会で検討し設問管理システムに内容を反映する。

4. 質問等への対応

質問等は参加施設の代表会員に限って受け付け、会員個人からは受け付けない。

質問の際には、施設名、施設 ID、代表会員名と質問事項の記載を必須とする。

質問等への回答は原則として行わない。